

中石地区で梨現地研修会

8月2日(金)、秋田県果樹協会中央部連絡協議会の現地研修会が男鹿市五里合中石地区で開かれ、全県から梨の生産者や関係機関の約120名が参加しました。

参加者は渡部朋利さんの園地を視察し、生育状況や管理方法などを話し合いました。研修会では男鹿地区営農センターの担当者と同地区での梨の栽培について紹介したほか、収穫期に向けて栽培管理や病害虫の発生状況、防除の注意点などを学びました。果樹におけるスマート農業の取り組みについても取り上げられ、意見交換を行いました。

人事考課者研修会

8月1日(木)と2日(金)の2日間、人事考課者研修会がJ A秋田なまはげ会館で行われ、人事考課担当職員70人が参加しました。

株式会社セルムの鈴木剛さんを講師に迎え、部下を評価する基準を明確にして評価の精度を高めるため、人事考課の手順や評価基準を確認しました。また、具体的なケースをもとに、職員個人の目標の定め方や実際の評価方法などを学びました。

J Aはこれからも職員の適切な育成や指導に努め、よりよい職場づくりとサービスの向上に尽力していきます。

梨の生育について
意見を交わす参加者



職員目標の評価基準を
学びました



NEWS & TOPICS

第33回日本海メロンマラソン

8月4日(日)、第33回日本海メロンマラソンが行われ、県内外からエントリーした参加者が強い日差しの中、健脚を競いました。

午前8時10分のハーフの部を皮切りに、10キロ、5キロ、ペア(3・4キロ)の部が続々とスタートしました。参加者は日本海に面した男鹿市若美地区を駆け抜け、ゴール後は「わかみメロン」の食べ放題コーナーで疲れを癒していました。ランナーには「わかみメロン」が贈呈されたほか、メロンの特価販売コーナーは多くの来場者でにぎわいました。

一斉にスタートを切るランナー



食料・農業・地域政策確立秋田県生産者大会

8月16日(金)、食料・農業・地域政策確立秋田県生産者大会が行われ、県内の農業関係者や議員らが秋田市文化会館に集まりました。

農業や食料流通に関する情勢報告が行われ、農業の継続的発展と食料の安定供給、担い手や農地の目標を定めるなど、基本法の理念を政策の柱とするべきとした大会申し合わせを採択しました。

自民党の金田勝年衆議院議員は「これからも水田フル活用の予算を大きく伸ばし、皆さんと一緒に頑張っていきたい」と話しました。

頑張ろう三唱をする参加者

